



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 日本光電工業株式会社

コード番号 6849 URL <http://www.nihonkohden.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 鈴木 文雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 広瀬 文男

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 03-5996-8003

平成23年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	55,297	5.3	4,146	1.2	3,836	△0.8	2,308	△11.5
23年3月期第2四半期	52,526	5.4	4,096	7.9	3,867	1.5	2,609	15.8

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 2,080百万円 (△3.8%) 23年3月期第2四半期 2,164百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	52.54	—
23年3月期第2四半期	59.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	88,772	63,276	63,276	71.2	71.2	1,439.50
23年3月期	92,495	62,294	62,294	67.3	67.3	1,417.18

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 63,240百万円 23年3月期 62,260百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	19.00	—	25.00	44.00
24年3月期	—	21.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	21.00	42.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	5.8	11,000	3.8	11,000	4.1	7,100	8.0	161.61

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	45,765,490 株	23年3月期	45,765,490 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	1,833,168 株	23年3月期	1,833,006 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	43,932,453 株	23年3月期2Q	43,933,475 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、様々な要因により異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信の添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の国内経済は、東日本大震災後の停滞を脱し、回復の兆しが見られたものの、欧米の景気減速懸念や円高の進行などにより、先行きは不透明な状況となりました。

このような状況下、当社グループは、3ヵ年中期経営計画「SPEED UP III」の諸施策を鋭意実行し、「コア事業の拡大・強化」、「技術開発力の強化」などの重要課題に取り組みました。

国内市場においては、昨年の診療報酬プラス改定を受けて病院の設備投資が増加基調となり、急性期病院を中心とする病院市場が好調に推移しました。診療所市場も、震災直後の投資減退から徐々に回復に上向き、新規開業支援ビジネスを強化したこともあり、好調に推移しました。生体計測機器では、院内IT化の進展に伴い診断情報システムが大幅に伸長したほか、脳神経系群や心電計群、心臓カテーテル検査装置も堅調に推移しました。治療機器では、医科向け除細動器やペースメーカーが好調に推移したほか、迷走神経刺激装置が売上に寄与しました。AEDは、販売台数は前年同期並みでしたが、販売価格の下落により減収となりました。「その他」商品群では、検体検査装置が好調に推移したほか、画像診断装置等の仕入品も売上を伸ばしました。一方、生体情報モニタでは、ベッドサイドモニタは堅調でしたが、臨床情報システムは大学や官公立病院向けの商談が例年に比べて下期偏重の傾向が強く、前年同期に大口商談があったこともあり、低調に推移しました。この結果、国内売上高は前年同期比5.9%増の456億6千3百万円となりました。

海外市場においては、米州、欧州、アジア州の全地域で売上を伸ばすことが出来ました。米州では、円高に伴う為替換算上の目減りにより米国向けの売上は微減にとどまりましたが、中南米が好調でした。欧州では、ドイツ、フランスが好調に推移したほか、トルコの需要回復も売上に寄与しました。アジア州では、中国、インド、中近東が好調でした。商品群別では、血球計数器が大幅に伸長したほか、生体計測機器も好調に推移しました。治療機器では、昨年11月に世界的な独占販売契約を締結したメトラン社製の人工呼吸器が売上に寄与しました。一方、生体情報モニタは、新商品の投入が遅れた中国、前年同期に大口商談のあった欧州や中南米で低調に推移しました。この結果、海外売上高は前年同期比2.5%増の96億3千4百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比5.3%増の552億9千7百万円となりました。利益面では、業容拡大に向けた人員の増強や研究開発投資により販管費が増加したため、営業利益は前年同期比微増の41億4千6百万円となりました。経常利益は、為替差損の影響もあり前年同期比0.8%減の38億3千6百万円、四半期純利益は前年同期比11.5%減の23億8百万円となりました。

売上高を商品群別に分類すると次のとおりです。

	金額 (百万円)	対前年同期増減率 (%)
生体計測機器	14,570	+ 6.9
生体情報モニタ	17,133	△ 2.1
治療機器	9,184	+ 7.0
その他	14,409	+ 12.4
合計	55,297	+ 5.3
うち国内売上高	45,663	+ 5.9
うち海外売上高	9,634	+ 2.5

(ご参考) 地域別海外売上高

米州	3,296	+ 1.4
欧州	2,838	+ 3.8
アジア州	3,084	+ 2.8
その他	415	△ 0.2

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ37億2千3百万円減少し、887億7千2百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ33億1千9百万円減少し、720億4千6百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ4億3百万円減少し、167億2千6百万円となりました。これは、有形固定資産、無形固定資産が減価償却により減少したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ47億5百万円減少し、254億9千6百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金や未払法人税等が減少したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ9億8千2百万円増加し、632億7千6百万円となりました。これは、四半期純利益が増加したことなどによるものです。

これらの結果、1株当たり純資産は、前連結会計年度末に比べ22.32円増加して1,439.50円となり、自己資本比率は、前連結会計年度末の67.3%から3.9ポイント増加し71.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結通期業績予想については、当第2四半期連結累計期間の業績および今後の見通しを踏まえ、国内売上高980億円（前回予想から20億円増）、海外売上高は220億円（同20億円減）を見込んでいます。営業利益、経常利益、当期純利益は前回予想から変更ありません。

第3四半期以降の為替の前提は78円/米ドル、103円/ユーロ、通期の為替の前提は79円/米ドル、109円/ユーロです。通期の海外売上高予想は円高による為替換算上の目減りを反映して見直していますが、当社は概ね輸出と輸入のバランスがとれているため、営業利益に与える為替の影響は大きくないものと考えています。

通期の売上高予想を商品群別に分類すると次のとおりです。

	金額（百万円）	対前年同期増減率（%）
生体計測機器	30,000	+ 6.4
生体情報モニタ	39,750	+ 6.6
治療機器	20,150	+ 5.6
その他	30,100	+ 4.4
合 計	120,000	+ 5.8
うち国内売上高	98,000	+ 5.3
うち海外売上高	22,000	+ 8.2

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の算定方法

税金費用の算定に関しては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,331	7,410
受取手形及び売掛金	37,363	32,300
有価証券	9,500	13,500
商品及び製品	10,802	9,901
仕掛品	1,202	1,353
原材料及び貯蔵品	2,279	2,908
その他	5,235	4,984
貸倒引当金	△348	△313
流動資産合計	75,366	72,046
固定資産		
有形固定資産	8,838	8,811
無形固定資産		
のれん	763	784
その他	3,307	2,937
無形固定資産合計	4,070	3,721
投資その他の資産		
投資有価証券	2,363	2,331
その他	1,909	1,921
貸倒引当金	△51	△59
投資その他の資産合計	4,220	4,193
固定資産合計	17,129	16,726
資産合計	92,495	88,772
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,870	16,287
短期借入金	1,339	1,412
未払法人税等	2,330	1,273
賞与引当金	1,456	1,890
製品保証引当金	623	496
その他	5,053	3,492
流動負債合計	29,673	24,853
固定負債		
長期借入金	7	4
退職給付引当金	116	261
長期未払金	194	191
その他	210	184
固定負債合計	528	642
負債合計	30,201	25,496

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,544	7,544
資本剰余金	10,487	10,487
利益剰余金	47,167	48,377
自己株式	△2,019	△2,020
株主資本合計	63,179	64,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△76	△91
為替換算調整勘定	△843	△1,057
その他の包括利益累計額合計	△919	△1,148
少数株主持分	34	36
純資産合計	62,294	63,276
負債純資産合計	92,495	88,772

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	52,526	55,297
売上原価	26,031	27,633
売上総利益	26,495	27,664
販売費及び一般管理費	22,399	23,518
営業利益	4,096	4,146
営業外収益		
受取利息	10	12
受取配当金	44	47
その他	147	140
営業外収益合計	202	200
営業外費用		
支払利息	9	11
為替差損	367	433
その他	54	64
営業外費用合計	431	510
経常利益	3,867	3,836
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	7	1
貸倒引当金戻入額	24	—
特別利益合計	31	1
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	5	5
投資有価証券売却損	1	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	11	—
特別損失合計	18	6
税金等調整前四半期純利益	3,880	3,831
法人税等	1,264	1,515
少数株主損益調整前四半期純利益	2,616	2,316
少数株主利益	7	8
四半期純利益	2,609	2,308

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,616	2,316
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△212	△15
為替換算調整勘定	△239	△220
その他の包括利益合計	△452	△235
四半期包括利益	2,164	2,080
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,154	2,078
少数株主に係る四半期包括利益	9	1

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。